

第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画（ふなばし一番星プラン）後期推進計画骨子案

- ☞ **第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画**は、**基本構想**（令和4年度から令和13年度）と、**推進計画（前期・後期）**で構成され、**前期推進計画**が令和8年度に終了するため、令和9年度から令和13年度までの**後期推進計画**を策定する。
- ☞ **後期推進計画**については、船橋市教育大綱、船橋市教育振興基本計画（後期基本計画）、第4期教育振興基本計画、千葉県生涯学習推進方針を踏まえ、**基本施策Ⅰ**、**基本施策Ⅱ**を整理し、重点的に取り組む必要がある施策を**重点的施策**として、設定する。なお、前期推進計画の5年間で、先導的に取り組む必要がある内容で、各施策・取組を横断的に関連付けて整理した**リーディングプロジェクト**は設定しない。

1. 後期推進計画の体系

基本施策Ⅰ 社会的包摂の実現と持続可能な社会を目指した学び

施策1 社会的包摂の実現に向けた学び

1. 多様な他者を理解・尊重する社会の実現に向けた学び
※男女共同参画、性的少数者等
2. 多文化共生の実現に向けた学び
※日本語教育、情報発信、交流・相互理解等
3. 困難を抱える子供の学び
※不登校・ひきこもり、ヤングケアラー、学習支援等
4. 青少年の豊かな心の育成のための学び
※体験活動、読書活動、主権者教育、消費者教育等
5. 人生100年時代を豊かに生きるための学び
※健康維持・介護予防、つながり等
6. 共に学び生きる社会の実現に向けた学び
※交流・相互理解、理解促進、障害のある人の学び、家族支援等

社会の多様化が進む中、障害の有無や年齢、文化的・言語的背景、家庭環境などにかかわらず、誰一人取り残されことなく、誰もが生き生きとした人生を送ることができる共生社会の実現を目指し、その実現に向けた社会的包摂の実現に向けた学びの機会を設けます。
「〇〇な人への学び」という観点で整理しました。

施策2 持続可能な社会を目指した学び

1. 人権尊重のための学び
※人権教育・啓発全般
2. デジタル社会に対応する学び
※デジタルデバイド、デジタルリテラシー等
3. 健康維持・増進のための学び
※運動・スポーツ、食育、病の予防・理解等
4. 環境に関する学び
※環境保全、環境教育、体験活動等
5. 暮らしに関する学び
※主権者教育、租税教育、消費者教育、防犯、交通安全、防災等
6. リカレント教育
※キャリア教育・職業教育、学び直し等
7. ふるさと船橋に関する学び
※郷土の歴史、郷土の産業、わたしたちのまち等

持続可能な社会の実現を目指し、現代的・社会的課題に関する学び、ニーズの高い学びの機会を設けます。
「〇〇のため（目的）の学び」という観点で整理しました。

基本施策Ⅱ 学びの成果の活用支援とつながりづくり

施策1 学びの成果を活かすための環境整備

1. 学びの成果の可視化
※学びポイント、修了証の発行、資格の認定等
2. 活動へつなげるコーディネート機能の強化
※活動へつなげる場づくり、社会教育人材
3. 地域・社会で活躍する人材・団体の育成と支援
※社会教育関係団体の支援、生涯学習サポート事業の周知等
4. 生涯学習施設の充実
※学びの機会の充実と成果活用支援

活動につながるきっかけとなる取組や活動につながりやすくなるためのコーディネート、学びの成果を生かして活動する個人や団体の支援を行います。

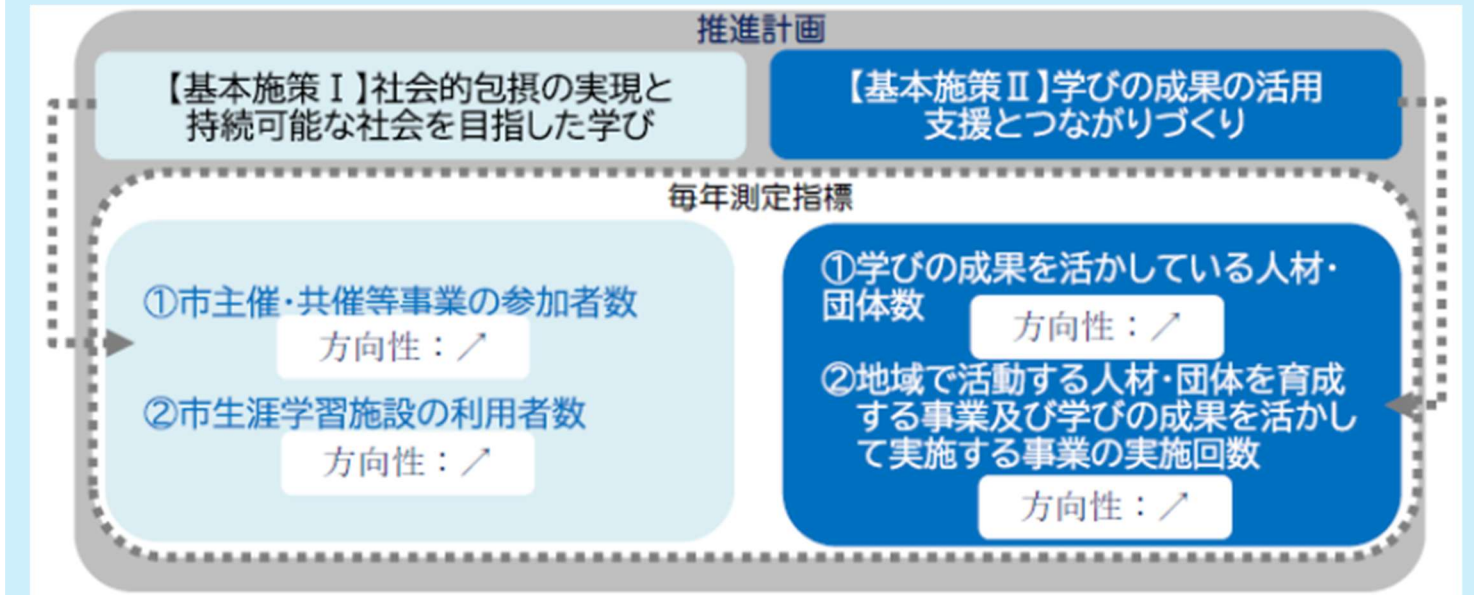
施策2 「つながり」を育む学び・活動の推進

1. 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進
※つながり、地域課題等
2. 学校・家庭・地域の連携の推進
※家庭教育、居場所づくり、地域と学校の連携・協働等

活動をさらに広げていくための取組をはじめ、地域コミュニティの基盤強化に向け、学びを通じてつながりやかかわりを作り出す社会教育を推進します。

2. 毎年測定指標

- ☞ **後期推進計画**の進捗状況を毎年点検することを目的として、**基本施策Ⅰ**、**基本施策Ⅱ**のそれぞれに**毎年測定が可能な指標**と**その方向性**を設定し、点検する。



3. 重点的施策

- ☞ **後期推進計画**では、リーディングプロジェクトを変更し、**基本施策Ⅰ**、**基本施策Ⅱ**のどちらにも関連し、重点的に取り組む必要がある観点を**重点的施策**として設定します。

重点的施策1 いつでもどこでもだれでも学べる環境の充実

課題1 「自宅学習」等のニーズが高い

重点的施策2 生涯学習に関する情報提供及び学習相談体制の充実

課題2 学習情報が知られていない

重点的施策3 地域の拠点「公民館」の充実

課題3 人材・団体の減少が続いている

（参考）リーディングプロジェクト

1. 人生100年時代への対応
2. デジタル化社会への対応
3. 「共生社会」実現のための取組の充実
4. 学びを広げる情報の充実
5. 地域の拠点「公民館」の充実

第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画（ふなばし一番星プラン）前期推進計画の状況

R7 年度市民アンケート結果（抜粋）

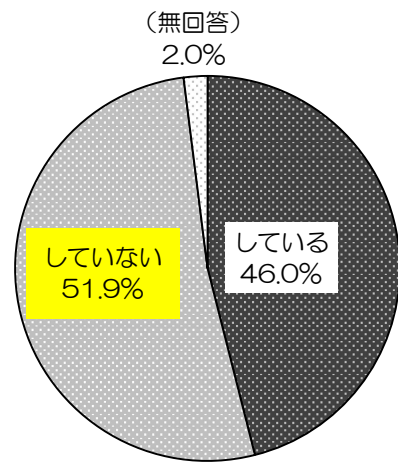


図-1 Q7.現在の学習や活動状況

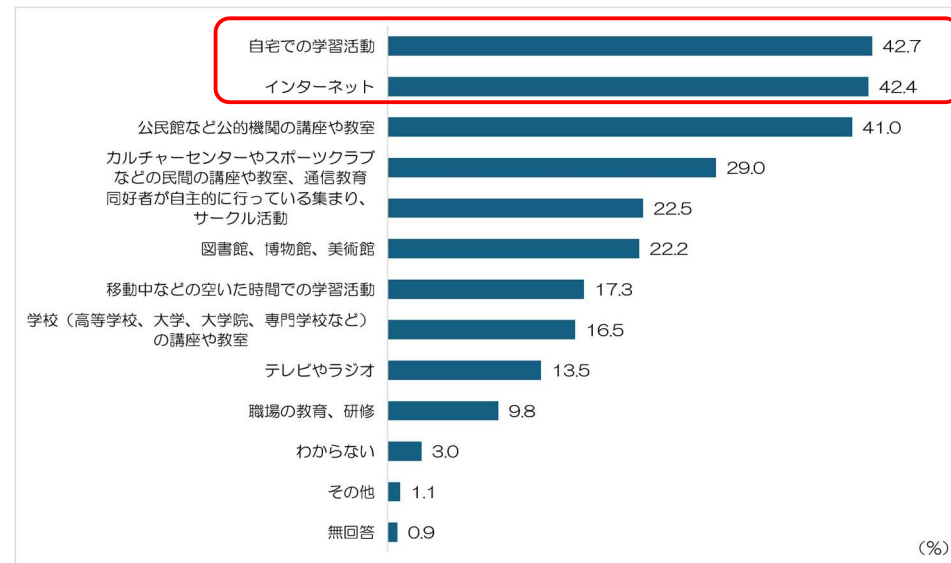


図-2 Q8-1.今後学習したい形態や場所

課題1 学習形態として、「自宅学習」、「インターネット」のニーズが高い

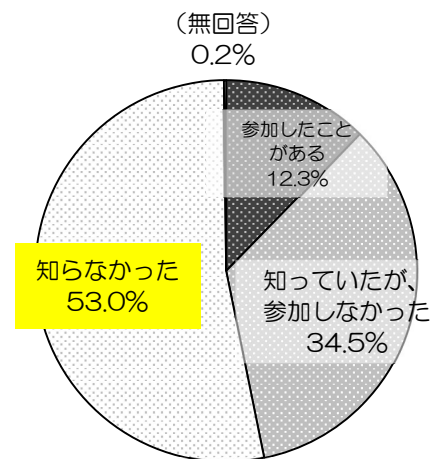


図-3 Q6.船橋市（公民館を含む）が主催した講演会・学習会・催し物に参加したことがありますか。

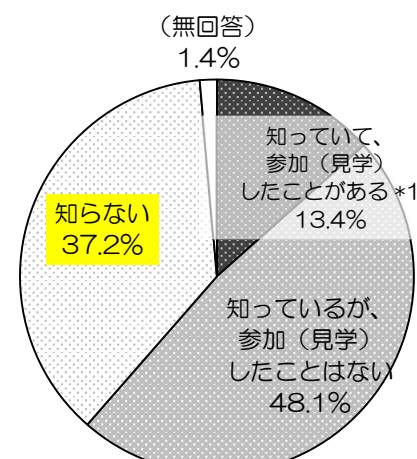
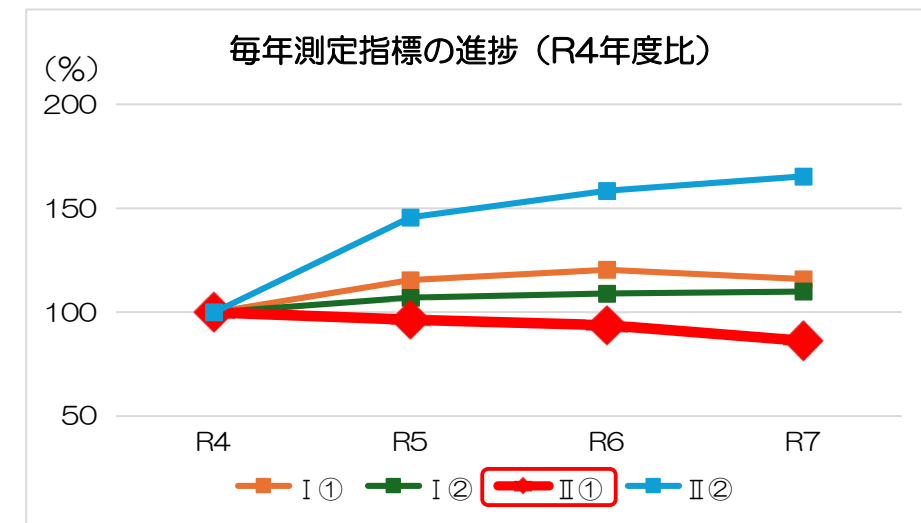


図-4 Q10.船橋市のサークル活動の認知と参加経験

課題2 市の主催事業やサークル活動について知らない方が多い

前期推進計画 毎年測定指標進捗状況



		R4	R5	R6	R7
I ①	実績値	241,285	278,388	290,712	279,468
	R4 年度比	—	115.4%	120.5%	115.8%
I ②	実績値	2,436,569	2,606,770	2,654,075	2,679,573
	R4 年度比	—	107.0%	108.9%	110.0%
II ①	実績値	106,781	102,810	100,049	92,150
	R4 年度比	—	96.3%	93.7%	86.3%
II ②	実績値	1,504	2,190	2,383	2,487
	R4 年度比	—	145.6%	158.4%	165.4%

I ①市主催事業の参加者数

- 概ね順調。
- R7 年度実績値の減少は、全体の約 7%を占める地産地消及び学童農園推進事業（R7 実績 19,781 人、前年度比 47.0%）の減少が原因の一つだが、参加者数の多い単年度(R5、R6)の事業があったためであり、その事業を除くと R7 年度は R6 年度より増加している。

I ②市生涯学習施設の利用者数

- 順調

II ①地域・社会で活躍する人材・団体数

- 例年減少。
- 毎年測定する全ての事業において減少が続いている。特に、R7 全体の約 95%を占める社会教育関係団体の会員数が減っていることが主因。（R7 実績 87,326 人、前年度比 91.7%）

II ②行政以外の主体との連携・協働により行った事業の実施回数

- 順調

課題3 地域で活動している人や団体が減少し続けている